

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 331

事業名	広田梅林事業運営補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	長寿福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3005			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	老人福祉費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	法的根拠 (法令、条例、要綱等)				
	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】			
	施策目標	子ども達や市民の遊び・憩いの場を充実する			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 南あわじ市老人クラブ連合会緑支部会員		対象人数(人) 50		
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 広田梅林の維持管理				
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 剪定、収穫、消毒、除草等を取り組むことにより維持管理をし、特に収穫では地元小学生の体験を行っている。 また、維持管理を行う中で3月の梅の開花時期には観光ガイドとしてPR活動を行っている。 消毒薬品、肥料、剪定代等事業費の一部を補助している。				
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 広田地区は古くから梅の名所として知られており、梅林の復元を目指して昭和41年に旧緑町老人クラブ連合会が中心となり、現敷地5,000平方メートルに南高、鶯宿あわせ300本を植樹し、老人クラブが運営管理している。				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(老人クラブ連合会緑支部)		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 継続事業。					

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	実績決算額				指標単位
						円
	指標説明 (指標算出方法等)	事業を達成するための実績内容と決算額				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	90	90	90	90	
	実績値	90	90	90		
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	
	目標値設定の考え方	前年度実績決算額				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	実績入込客数				指標単位
						人
	指標説明 (指標算出方法等)	開園期間の入場者数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	
	実績値	9,000	9,000	9,390		
	達成度 (%)	100.0	100.0	104.3	-	
	目標値設定の考え方	前年度実績入場者数				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	90	90	90	90	
	広田梅林運営補助金	90	90	90	90	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	90	90	90	90	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	92	90	90	90	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)	3	3	3	3	
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	
年間経費([A]+[B])	182	180	180	180		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	3.6	3.6	3.6	3.6		
受益者人数( 50 )1人当り経費(千円)	3.6	3.6	3.6	3.6		
経費に関する補足説明						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	100.0	100.0	100.0	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市観光スポットとして維持管理に努め、観光案内を行っている。							自己評価 (5点評価)
							4
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	100.0	100.0	104.3	-	
	成果向上率	%	-	0.0	4.3	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 梅の収穫時期など子どもたちと一緒にいき、世代交流を図りながら、環境美化を推進し、次代へ繋げていく重要な活動ができた。							自己評価 (5点評価)
							4
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		千円	2.0	2.0	2.0	-	
	効率性増減率	%	-	1.3	0.3	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) ボランティアでの活動であり、観光地の維持管理については妥当である。							自己評価 (5点評価)
							3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 観光名所として十分、維持管理が行き届き、公共性も高い。						自己評価 (5点評価)
						4	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 観光名所の一つとして、地元住民が大切に取り扱っており、その姿を子どもたちに伝え、地域に溶け込んだ事業である。商工観光課においては新広田梅林に委託しており、出来れば、一括した管理体制を整備する必要があると思われる。						<p>評価グラフ</p>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>新旧の梅林があるが、広田梅林として認知度が高く、南あわじ市の観光スポットとして重要な役割を担っているため、事務局の統一化を図る必要がある。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	事務局を一本化することを検討する。	同左
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	<p>広田梅林維持管理は老人クラブ連合会緑支部で行なっており、事務局を一本化することで、効率的な事務を行うことができる。</p>	同左
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>新旧広田梅林ともに、南あわじ市の梅の名所として多くの観光客や市民に親しまれているため、事業を中止した場合には、梅林の運営や維持管理が出来なくなることによる影響は大きいと思われる。</p>	